

建設工事の予定価格及び最低制限価格の算出方法について

雲仙市が発注する競争入札に付する建設工事の予定価格及び最低制限価格の算出方法を以下のとおりといたしますので、お知らせいたします。

1. 予定価格及び最低制限価格の算出方法（税抜き）

(1) 予定価格及び最低制限価格は、下表のとおり区分ごとに定める最低制限設計価格にランダム係数を乗じ算出します。

	区 分	最低制限設計価格
建設工事	土木工事、建築工事（搬送設備工事を除く） 電気設備工事、電気通信工事、機械設備工事、 管工事、舗装工事、防水工事 水道施設工事 等	設計金額の90%
	建築関連の搬送設備工事 及び 解体工事	設計金額の80%

(2) 予定価格及び最低制限価格は以下により算定します。

なお、1,000円未満の金額は切り捨てるものとします。

(ア) 予 定 価 格 = 予 定 基 本 価 格 × ランダム係数(a)

※予定基本価格 = 設 計 価 格 × ランダム係数(甲)

(イ) 最 低 制 限 価 格 = 最 低 制 限 基 本 価 格 × ランダム係数(b)

※最低制限基本価格 = 最 低 制 限 設 計 価 格 × ランダム係数(乙)

(3) ランダム係数の範囲

事前 ランダム係数(甲) 0.999～1.000 (−0.1%)

ランダム係数(乙) 1.000～1.001 (+0.1%)

公開 ランダム係数(a) 0.999～1.000 (−0.1%)

ランダム係数(b) 1.000～1.010 (+1.0%)

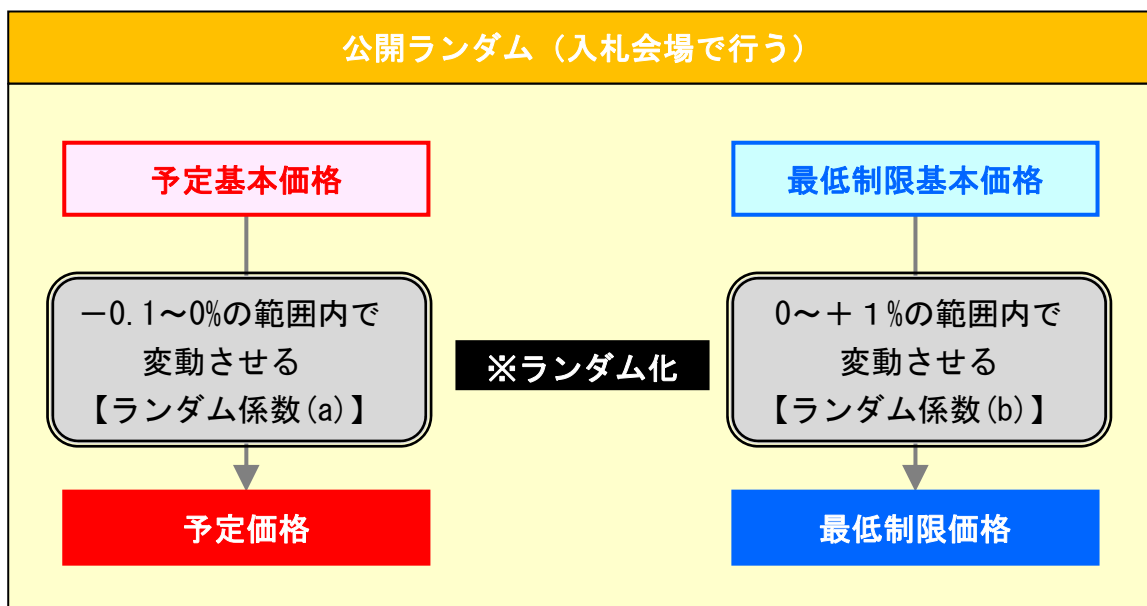
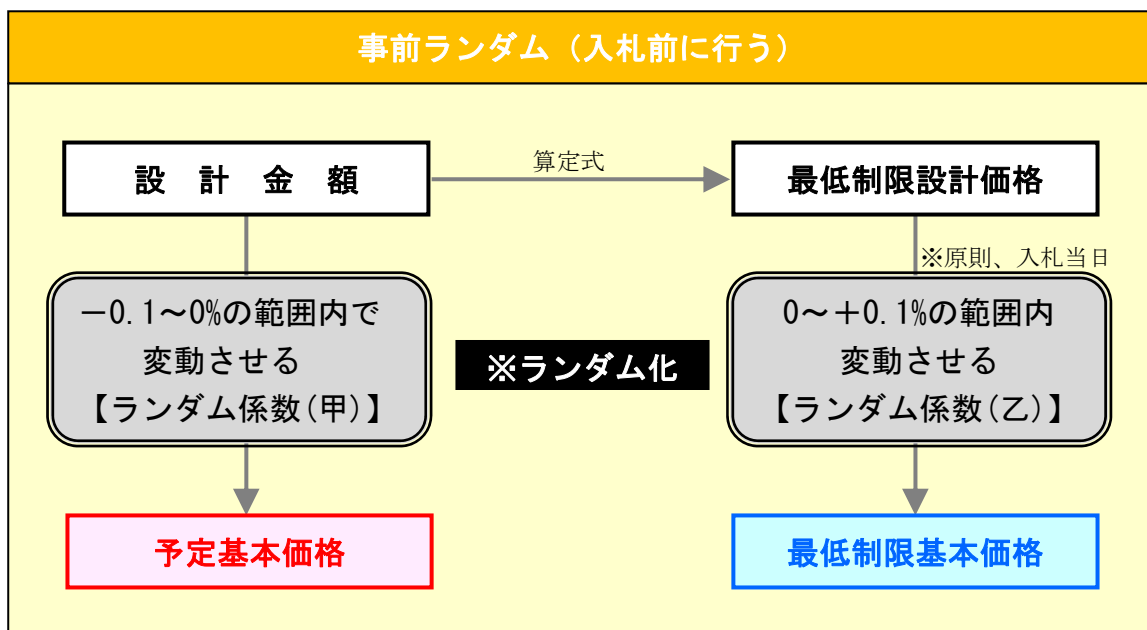
※ランダム係数(甲)及びランダム係数(乙)は公表しません。

※入札後、ランダム係数(a)及びランダム係数(b)は公表します。

2. 適用日

この告示は、平成29年4月1日から施行し、同日以後に入札を公告し、又は入札の執行を通知する建設工事から適用します。

予定価格等のランダム化による決定の概念図



※パソコンによる公開ランダム化について

予定価格はランダム係数(a)、最低制限価格はランダム係数(b)を使用します。

(例) 最低制限価格の場合

最低制限価格

=

最低制限基本価格

×

ランダム係数(b)

ランダム係数

暗号化などのセキュリティ強化に使われる「乱数」を利用して決定しています。
100万通りの値の中から無作為に抽出されるので予測不可能です。